子供のための英語　目次

まえがき　1

第1部　**早期英語教育をしたい理由**　9
「子供に英語を学ばせたい」と思うことは
とてもすばらしいことなのです

はじめに　10
英語は何歳からでもスタートできる！　13
早くから始めるといい理由って？　13
クラッシック音楽は英語の聞き取りを良くする！　14
一度身に付いた音は一生消えない　15
日本語は英語より大切？　16
米国カリフォルニアの英語教育　18
日本における子供への英語教育は？　19
子供が英語を学ぶ時は…　20
子供の「心理的障害」を取り除く　21
外国語教育は子供に多くの良い影響がある　23
早期英語教育は知育教育ではない　24

〈参考資料〉 早期英語教育に関する基礎的な考え方　26

第2部　**子供のための英語環境**　27
英語子育てをスタートさせるときの
具体的な方法を紹介します

子供のための英語環境をつくりましょう！　～ご家庭で～　28
親ができる小学生へのきっかけづくりは…　28
親ができる幼児（2～6歳）へのきっかけづくりは…　29

親ができる乳児（０～１歳）へのきっかけづくりは…　30
英語学習の習慣化　30
家に英語コーナーを設置　31
継続と繰り返し　32
ご家庭での具体的な活動方法　32
英語が得意ではない親の子供への英語教育は？　36
英語子育ては悩むことが多い　38
海外体験をさせたい！　～親子留学・ホームステイ～　42
値段が高い！　家庭用子供英語セット教材について　45

第３部　**失敗しない英語教室の選び方**　47
良い英語教室とダメな英語教室の違いとは？

子供英語教室の賢い選び方 1　48
子供英語教室の賢い選び方 2　50
インターナショナルスクールって？　52
インターナショナルスクール入学を考える？　53
一般の幼稚園・保育園でも英語と触れ合っている　57
バイリンガル教育は国際結婚カップルでも大変！　57
どこまでがんばって取り組むべき？　58
参考までに　～各家庭での英語子育ての事例を紹介～　60

第４部　**公立小学校での英語活動**　63
本格的に始まった小学校での英語教育
果たしてその実態は？

小学校で英語を学ぶことができる！　64
普通の小学校の英語活動を拝見　65
英語教育ではなく英語活動　74
総合的な学習の時間って何？　75

小学校での英語活動には評価がない？　76
小学校は英会話スクールではない！　77
公立小学校では担任教師が英語を教える？　78
小学校の英語活動の具体的内容は？　81
小学校教師のための児童英語研修　84
英語教室へ通っている子といない子の差　85
公立小学校での英語活動への期待と展望　86

第5部　**子供のための英語教材**　89
たくさんあって迷ってしまう教材選び
良い教材かダメな教材かを徹底評価

セット英語ビデオ教材について　90
単品英語ビデオ教材について　104
英語絵本、CD・カセット英語絵本について　109
　英語絵本　110
　CD・カセット英語絵本（単品物）　115
　CD・カセット英語絵本（シリーズ物）　117
英語歌CD・マザーグースCDについて　119
子供英語学習用CD-ROMについて　122
カードについて　127
　アルファベットカード　127
　ゲームカード・フォニックスカード　129
アメリカ・カナダのお母さん推薦の英語絵本など　132
　英語絵本＆CD付英語絵本　133
　英語歌CD・カセット　139

子供英語教材ショップリスト　141

あとがき　144

●コラム

早期英語教育のメリット　17
シンガポールの英語教育　21
一般のお父さんの意見　37
一般のお母さんの意見　59
昔の英語教育を振り返って　65
ネイティブから見た小学校英語　69
小学校教師の立場から　71
大切なのは具体的な活動計画　81
授業の基本は英語力　83
一般のご夫婦の意見　93

・本書で紹介した英語教材の価格は、原則として2003年４月15日時点での税別の本体価格です。その後予告なく変更になる場合もありますので、ご了承ください。

・日本国内で手に入る輸入教材については、販売元により価格が異なりますので、三善KIDS MART、紀伊国屋書店本店、丸善本店等の主要ショップの平均的な販売価格（2003年４月15日現在）を参考価格として表示しました。それぞれ価格の横に（参考）と記しております。

・P.132～140で取り上げた教材は、主にアメリカ国内で販売されているものですので、現地で設定されている定価（米ドル）で表示しました。

・なお、各教材の詳しい内容、購入方法については、P.141～143の「子供英語教材ショップリスト」に掲載した各販売会社、書店にお問い合わせください。

まえがき

「バイリンガル作りは耳作り！」この一言に尽きます。幼児期から英語環境を整えることで英語を聞き取り、聞き分ける能力を育てることが必ずできます。

「子供をバイリンガル」にするための注意ポイントは「長期的な展望」です。まずは根気良く取り組むことが最も大切な点でしょう。親に忍耐と努力があるかないかで、子供を完璧なバイリンガルに育てることができるかできないかが決まります。

しかしながら、日本の多くの親たちは完璧なバイリンガルではなく、セミバイリンガルで十分だと考えているでしょう。つまり、日本語母語の能力にプラス「英語」を使いこなせる能力を身に付けさせたいと思っていらっしゃるのではないでしょうか。日本語と英語が話せるだけで世界が広がり、視野も広がり、仕事の種類も増え、人生においてチャンスも多岐に渡ってきます。また、一人の人間としても幅のある魅力的な人になるでしょう。多くの教育学者たちも幼い頃から外国語に接していると人間形成面において良い影響が出ると言っています。私の周囲でも、英語を習っている子供たちには比較的積極的な面が見られますし、さらに自信がある態度で何事にも臨む姿勢が表れています。一言語のみで育つよりも二言語、三言語の環境でそれぞれの影響を受けながら育つ方がはるかに刺激が多いわけですから、人間形成面において多くの影響があるのかもしれません。

普通の子育てにも言えることですが、英語子育ては家庭によって異なって当然と考えるべきでしょう。ステレオタイプの英語教育を

していても子供に必ずしも良い影響を与えるとは限りません。大切なのは**その子供の興味・関心に合わせた英語子育てをすること**を心がけることです。それにはやはり子供のことをよく知っている親の努力が子供に絶大な影響を及ぼします。

日本のたいていのお母さんは英語をあまり得意としていません。でも子供には英語が話せる可能性を持たせてあげたいという熱心な方たちばかりです。私の友人にも看護師として昼夜問わず仕事に追われている人がいます。忙しいからあまり何もしてあげられないと嘆いていますが、子供の英語教育にはとても関心をもっています。他の習い事よりも将来英語が使えたら便利だし、仕事の選択も増えるという認識があるのだと思います。

私は仕事柄、いろんな人から次のような相談をよく受けます。

〈一般のお母さんからの相談は…〉

「〇〇〇ビデオ教材って買ってもいいと思う？」

「英語教室ってどこがいいの？　月謝のこともあるし…。」

「インターナショナルスクールに入れたいけど…どこがいい？」

「何歳からやればいいの？」

「英語教室に通わせているけど少しも話せるようになっていないのよ。困ってる…」

「児童英語教師になりたいけどどうしたらいい？」

「小学校の英語って何をやってるの？」

〈子供の英語教材開発・販売会社からの相談は…〉

「小学校用の教材の内容はどのようなものが適してるのか？」

「乳児・幼児にはどのような教材が向いているのか？」

「この外国の教材は日本向きにするにはどうしたらいいか？」

「教材開発、アイデア開発に協力してほしい。」

「開発した教材を鑑定してほしい。」

など相談内容は様々です。最近では何が良いのか迷うのも当然です！　それだけ多くの情報に翻弄されてしまっているのでしょう。私は子供の英語教育に関わってから18年経ちますが、ここ最近の情報量の多さには驚くものがあります。多すぎる故に良いものを見極める目が必要になるのですが、子供の英語教育に精通した人でないと見極めるのはなかなか難しいでしょう。

毎年あちこちの会社が次々と新しい教材を競い合うように出し続けています。このような現状は数年前から予測されていたことです。というのは、日本の英語教育事情を考える時、「子供の英語教育」は飽和状態であった英語教育ビジネスの最後の市場というべき分野になるからです。折りしも文部科学省が小学校の英語教育について指針を出しているので、2002年度から公立小学校での英語教育も本格的にスタートしています。現状では全国の50％ほどの小学校でどのような形であれ「国際理解教育・英語教育」に取り組んでいますが、数年後は全ての小学校で英語が教えられるようになるでしょう。インターネットの普及などにより、ボーダーレスになった国際社会において「幼い頃からの英語教育の必要性」を誰もが感じるようになったからだと思います。

この本では、私自身の現在の立場を大いに利用した内容を書いています。常に「子供の英語教育」について新しい情報を手に入れることができるという恵まれた環境にいる私が、皆さんに一番良い情報を選択して提供したいと願ってやみません。皆さんの英語子育てに少しでもお役に立てれば幸甚です。